

# 令和5年第12回教育委員会定例会議事録

令和5年12月27日

東久留米市教育委員会

令和5年第12回教育委員会定例会

令和5年12月27日(水) 午前9時33分開会  
市役所6階 602会議室

議題

第1 教育長報告

- ①「東久留米市第3次教育振興基本計画(原案)」に係るパブリック・コメントについて
- ②令和5年度「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果について
- ③令和5年第4回市議会定例会について
- ④「スポーツ健康ウィーク東久留米2023」の報告について
- ⑤令和5年度東京都市町村教育委員会連合会第3ブロック研修会について

---

出席者(4)人

教 育 長	片 柳 博 文
委 員 (教育長職務代理者)	宮 下 英 雄
委 員	尾 関 謙 一 郎
委 員	植 村 芳 美

欠席者(1)人

委 員	馬 場 そ わ か
-----	-----------

---

東久留米市教育委員会会議規則第13条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

教 育 部 長	小 堀 高 広
指 導 室 長	小 瀬 ま す み
教 育 総 務 課 長	田 中 徳 彦
学 務 課 長	田 口 純 也
生 涯 学 習 課 長	島 崎 修
図 書 館 長	島 崎 律 照
主幹・統括指導主事	森 山 健 史

---

事務局職員出席者

教育総務課庶務係長	鳥 越 富 貴
-----------	---------

---

傍聴者 4人

◎開会及び開議の宣告

(開会 午前9時33分)

- 片柳教育長 これより令和5年第12回教育委員会定例会を開会します。  
馬場委員はご欠席ですが、定足数を満たしていますので会議は成立しています。
- 

◎議事録署名委員の指名

- 片柳教育長 議事録の署名に入ります。本日の議事録の署名は、宮下委員にお願いします。
  - 宮下教育委員 はい。
- 

◎傍聴の許可

- 片柳教育長 傍聴の許可に入ります。傍聴の方はいらっしゃいますか。
- 鳥越庶務係長 いらっしゃいます。
- 片柳教育長 お入りいただきます。

(傍聴者入室)

傍聴の方にお知らせします。資料につきましては、お入り用の場合はお持ち帰りいただけます。

---

◎議事録の承認

- 片柳教育長 議事録の承認に入ります。10月24日に開催しました第5回臨時会、11月1日に開催した第6回臨時会及び11月10日に開催した第11回定例会の議事録についてご確認をいただきました。特に訂正のご連絡はいただきませんでした。よろしいでしょうか。  
(「異議なし」の声あり)
- 異議なしと認め、いずれの議事録も承認されました。
- 

◎教育長報告

- 片柳教育長 日程第1、教育長報告に入ります。「①「東久留米市第3次教育振興基本計画(原案)」に係るパブリック・コメントについて」から説明をお願いします。教育総務課長、お願いします。

- 田中教育総務課長 初めに私からパブリック・コメントの実施結果について、配付資料に沿ってご説明します。募集期間は令和5年12月1日(金)～12月20日(水)までの20日間、計画の原案を市役所1階市政情報コーナー、市内各図書館などや市ホームページで公開し、ご意見数はお一人の方から4件お寄せいただきました。

次に、ご意見の内容及び回答についてです。「ご意見の概要」と「ご意見に対する教育委員会の考え方」について、各所管部署を総括して教育総務課からご説明します。

番号1は、大きく2点のご意見です。1点目の「計画に記載されている内容の具体策は、別途計画がつくられるのか。」のご意見に対しては、「各施策を推進するため、単年度の事業計画を策定し、進捗状況や効果等の進行管理の取り組みにより、第3次計画の実効性を担保する。」旨の考えを示しています。2点目の「不登校対策について「寄り添った指導の充実」は、どう取り組んでいくのか。」のご意見に対しては、「学校全体での対応を推進するとともに、スクールソーシャルワーカーによる支援や学習適応教室、別室登校など多様な学びの場づくりを引き続き進めていく」旨の考えを示しています。

続いて、番号2「地域との連携」について2点のご意見です。1点目の「地域における活

動の可視化について」のご意見に対しては「学校だよりや学校ホームページで周知しているところですが、引き続き広報活動に努めていく」旨の考えを示しています。

2点目の「各地区の青少協（地区青少年健全育成協議会）の活動への支援について」のご意見に対しては、「各地区の会長が集まり情報共有などが図られ、市としても引き続き支援を行う」旨の考えを示しています。

資料裏面をご覧ください。番号3「道徳教育及び人権教育に関して、「考える・議論する道徳」の取り組みへの要望について」のご意見に対しては、「オンライン活用を含め、外部連携、体験的な活動、教材の工夫などに努め、引き続き教育活動全体を通して推進していく」旨の考えを示しています。

最後に番号4「地域との連携に関して、学校と市民がディスカッションできる場の要望について」のご意見に対しては、「今後の教育は、これまで以上に学校と家庭、地域との協力の下で進めていく必要がある」とし、「引き続き様々な意見交換の場などを活用して意見を求めていく」旨の考えを示しています。

この実施結果については、本計画の資料編に実施内容として掲載していきます。また、本計画策定までの今後のスケジュールについては、本日の定例会以降、事務局が計画案として取りまとめた後、来年1月開催予定の第1回教育委員会定例会において計画の決定を予定として考えていますのでよろしくお願いいたします。

○片柳教育長 説明が終わりました。ご質問等ありませんか。

○宮下教育委員 このパブリック・コメントに応募してくれた方はお一人です。お一人で四つの内容についてご意見を述べているわけですが、項目を見ますと教育の内容や教育行政に明るい方ではないかなと思います。

そこで伺います。教育委員会のコメントですが、このコメントの考え方を読ませていただいた時に、「この方が求めているのは『もっと子どもに寄り添って対応してほしい』という意がこの方の心の中にあるのではないかと」思いました。「もっと子どもの声を聞いてほしい」「もっと子どものことをよく見てほしい」「もっと子どもと一体となって分かり合える場をもってほしい」というお気持ちですが、このご意見の中に含まれていると思います。それが「寄り添った指導の充実」という言葉の中に現れているのではないだろうか。

そう考えると教育委員会の回答は、どちらかという教育行政の言葉を連ねているという印象を持ちます。“もっと心の奥底にかかるような”と言いますか、もう少し温かい対応が伝わるような回答のほうがいいのではないかと思います。

今回発足した子ども家庭庁の通知等でも、そのような配慮を含むようにということがよく書いてあります。そういう点も強調しながら回答したほうがいいのと思いますので、ご検討いただければと考えています。

「2」についてです。前回の総合教育会議の中でも私は発言していますが、東久留米市は今後、スクールコミュニティ構想を進めていくことによって、こういう問題を全て解決していくと思います。そこら辺のことも踏まえた上でご検討をしていただければありがたいです。

パブリック・コメントの意見を出された方には、まだ回答していませんね。それならば教育委員会内部でご検討していただければと思います。

○片柳教育長 ただいまご意見をいただきましたが、いかがですか。

○田中教育総務課長 委員のご意見を踏まえ、いま一度、教育委員会としての考え方に関しての検討を行っていきます。

○片柳教育長 よろしいでしょうか。

- 宮下教育委員 はい。
- 片柳教育長 続いて「②令和5年度『東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の結果について」、指導室長から説明をお願いします。
- 小瀬指導室長 令和5年12月、「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果について、東京都から確定値の提供がありましたので、本市の結果について報告します。詳細は統括指導主事から説明します。
- 森山統括指導主事 資料をご覧ください。先ずグラフについて説明します。
- レーダーチャートは昨年度の全国の値を「50」とし、本市の結果を実線、東京都の結果を点線、昨年度の全国の結果を網かけで表示し、比較をしています。また、資料については小学校を1枚目の両面、中学校を2枚目の片面で取りまとめています。
- 小学校から説明します。全体の傾向として、長座体前屈（柔軟性）が国の平均と同等または上回りました。一方で、本市の課題である20mシャトルラン（全身持久力）及びソフトボール投げ（巧緻性）については体を思いどおりに巧に動かす能力ですが、国の平均を下回りました。また、反復横跳び（敏捷性）も国及び都の平均を下回る結果となりました。
- 20mシャトルランについては、令和4年度の結果と比べるとほとんどの学年で向上していますが、本市の課題として、それぞれの学校で取り組んでいる縄跳び習慣やマラソン旬間など運動機会の確保の取り組みを推進するよう、引き続き指導していきます。
- 次に2枚目、中学校について説明します。全体の傾向としてハンドボール投げ（巧緻性）が2年生の女子を除き、国や都の平均を上回りました。さらに、令和4年度の結果と比べ、1年、3年生男子及び1年生女子の平均は高い結果となりました。このことについては、保健体育の授業だけでなく、運動部活動等の経験により運動への抵抗が減り、体を巧みに動かして投げる能力が向上したものと考えています。
- また、長座体前屈（柔軟性）をはじめ、多くの項目の全ての学年において都の平均を上回りました。このことについては、それぞれの学校で計画的に実施している特色を生かした取り組みや、調査結果に基づいた体力向上の取り組みの成果であると考えています。
- 今後も運動に日常に取り組む機会を設定するとともに、平均を下回った項目については指導内容や年間指導計画の見直しを図るよう、引き続き指導していきます。以上です。
- 片柳教育長 説明が終わりました。ご質問はありませんか。
- 宮下教育委員 この中で素晴らしい結果が出ているのが「長座体前屈」ですね。具体的にどのような内容ですか。
- 森山統括指導主事 座った状態で体を前屈させ、手の先が膝や足先よりもどれだけ前に出るかを測るものです。
- 宮下教育委員 分かりました。その「長座体前屈」の項目だけを見ると、これは小学校1年生の時には全国並みの値ですが、2年生からは断トツに全国平均を大きく上回っています。学校教育において、長座体前屈のデータがよくなるような教育活動を推進しているのですか。例えば、中学校のハンドボール投げは断トツにいい結果です。その成果が全国レベルにも反映されていることは市民の皆さんであればよく分かっていると思いますが、小学校のその部分だけが断トツによくなってきているのは、特別な教育活動をやっているのかどうか。指導室がつかんでいることがあれば伺います。
- 小瀬指導室長 柔軟性に特化して何かということはありませんが、各小学校では始業前に体を動かす時間を取っていたり、休み時間に外遊びを奨励し、教員も外に出て一緒に遊んだり、自由に体を動かす時間を確保しています。また、定期的に体育朝会でラジオ体操やスト

レッチを取り入れたり、期間を設けて運動月間、あるいは体力向上月間のような取り組みをしていることから、小学校でも学年が上がるにつれて体の動きが伸びやかになっていくものと考えます。

- 宮下教育委員 分かりました。体力調査の結果が全国または全国以上になっていることは、大変素晴らしいことだと思います。

教育は「知」と「徳」と「体」で成り立つものです。「体」の部分については分かりましたが、「知」の部分においてもこれから伸びるように、重点的にご指導していただければありがたいと思います。

- 尾関教育委員 全体的には少しだけ向上しています。ソフトボール投げについては小学校の場合は思うような結果になっていないということですが、ソフトボール投げはご存じのように、やればやるほどよくなる種目です。中学校ではハンドボール投げの能力が上がっていますから、決して本市の子どもたちが最初から劣っているわけではないと思います。

大谷選手からのグローブも届いたようですので、ソフトボール投げをしっかりとやっていただければと思います。

- 片柳教育長 続いて、「③令和5年第4回市議会定例会について」の説明をお願いします。教育部長、お願いします。

- 小堀教育部長 それでは、令和5年第4回市議会定例会についてご報告します。クリップ留めの資料一式をご用意いただきたいと思います。

初めに日程表をご覧ください。本定例会の会期日程は12月4日から25日までの22日間でした。おめくりいただいた次の資料は会議結果の一覧で、提出された議案第70号から議案第92号までの全23議案は全て可決されています。

その下に続く、4枚の資料は提出議案の一覧です。これが4枚あり、これらをおめくりいただきますと資料の上部に「令和5年第4回定例会一般質問届出順序及び内容」という資料があります。これに沿って一般質問のご説明をさせていただきます。

教育委員会に係る一般質問の通告は議長を除く21名の議員のうち15名からありました。議員名と題名をお伝えします。1、宮川議員、「1 富田市政前半2年間を高く評価。後半2年間を迎えるにあたり富田市長の変わらぬ熱い決意を問う。(9)ゲートボール場、(10)市内小学校・中学校・入学・卒業祝い」。2、高橋議員、「1 教育行政について、(1)タブレット端末を活用した教育の充実について」。3、阿部議員、「2 教育行政について、(1)特別支援教育について」。4、関根議員、「1 市行政及び教育行政について、(2)今後のDXにおける新たな可能性について、イ、仮想空間(メタバース)の活用、(イ)不登校支援」。6、岩崎議員、「1 教育行政、(1)中学校における自閉症・情緒障害の特別支援学級の固定制について、(2)不登校児童・生徒への支援団体を明記したマップの作成と団体連絡協議会の創設について」。7、鴨志田議員、「1 市行政について、(1)虐待について、イ、児童・生徒への取り組み」。8、北村議員、「2 教育行政について、(1)学校施設の断熱化について」。9、永田議員、「2 教育行政について、(1)学校給食について」。10、村山議員、「1 市行政について、(4)公共施設マネジメントについて、ア、旧下里小、イ、生涯学習センター」。12、引間議員、「2 教育行政について、(1)英語力・英会話力の現状と課題について、(2)外国人との交流授業について」。13、梶井議員、「4 教育行政について、(1)中学校給食について、(2)ICT環境の整備について」。14、かやま議員、「2 教育行政について、(1)公立中学校給食について」。15、間宮議員、「1 教育行政について、(1)図書館行政

について、ア、決算特別委員会を受けて」。20、当麻議員、「2 教育行政について、(1) 小山小学校増築工事について、(2) 中学校給食(スクールランチ)について」。

21、篠宮議員、「2 教育行政について、(1) 小中学校における不登校、いじめについて、(2) 小中学校の地域と連携した教育について」。

以上、多岐にわたる内容のご質問をいただきました。また、今ほどご紹介した以外の質問でも、やり取りの過程で教育委員会として考え方をお答えしているものもあります。

次の資料は、これら一般質問に対する教育委員会の答弁概要ですので、後ほどご覧いただければと思います。

続いて請願です。請願付託表をご覧ください。教育委員会に関係するものは「5 請願第27号 教室に設置されたエアコン不具合が原因による教育への妨げが発生しないよう、効果的な再発防止策を早急に講じること、及び小中学校の特別教室へのエアコン(冷房)の早期設置を求める請願」、「5 請願第28号 国に対して、「小中学校の断熱化の早期達成目標を示し、継続的に予算を確保することを求める意見書の提出」を求める請願」、「5 請願第32号 国や東京都に対して「全ての小中学生の給食費無償化のための財政措置を速やかに実施するよう求める意見書」の提出を求める請願」「5 請願第33号 東久留米市立中学校の全員給食の実施を求める請願」。これら4件ですが、おめくりいただくとそれぞれの請願書の写しがあります。これを4枚めくっていただきますと、これら教育関連の請願に係る総務文教委員会での審査経過がまとめられた資料があります。こちらも後ほどご覧いただければと思います。なお、これら請願は同委員会及び最終本会議のいずれにおきましても、不採択と決めています。

以上、雑駁ですが、議会報告とさせていただきます。

○片柳教育長 続いて「④『スポーツ健康ウィーク2023』の報告について」の説明をお願いします。生涯学習課長、お願いします。

○島崎生涯学習課長 報告書をご覧ください。令和3年10月のスポーツ健康都市宣言を踏まえ、「スポーツ健康ウィークに東久留米2023」と題し、宣言を行った10月1日から10月第2月曜日のスポーツの日までの期間を中心に市民のスポーツ及び健康に対する機運を高めることを目的とし、関係各課、指定管理者のスポーツ及び健康に関する一連の事業を取りまとめ、広報及びホームページで周知するほか、ポスター、チラシを作成し、市内各所に掲示・配布しました。

ページをおめくりいただいて、イベントスケジュールをご覧ください。本年度は九つの課と指定管理者により、合計して18事業を実施しました。昨年度と比較して4事業増えています。写真のある報告資料をご覧ください。教育委員会の事業を中心に説明します。

「①親子でボール投げ教室」はスポーツセンターの指定管理者が主催し、東京2020オリンピック競技大会とソフトボール競技で金メダルを獲得した峰さんと渥美さんをお招きし、90名の方にご参加いただきました。

下の②③④⑥⑧につきましては、福祉保健部介護福祉課、福祉総務課による事業となっています。

「⑤東久留米てくてくさんぽ」は生涯学習センター指定管理者による事業です。こちらは19人にご参加いただいて実施しました。

右のページ「⑦幼児のつどい運動会」は、子ども家庭部児童青少年課による事業です。

ページをめくりいただきまして、⑨⑩は昨年度に引き続き実施しました。

「⑨ラジオ体操講習会」はNHKテレビ・ラジオ体操の指導者の鈴木大輔さんをお招きし

まして、56人の方にご参加いただいています。

「⑪ファミリースポーツフェスティバル」は体育協会の主催で、4年ぶりに開催することができました。雨天により大門中学校の校庭で行う予定だった屋外イベントはできませんでしたが、スポーツセンターを会場として854人にご参加いただいています。

「⑫フィットネスウォーキング～歴史と文化を巡る秋の南沢編～」は、生涯学習課の主催事業で、スポーツ振興係と文化財係が連携して実施しています。各所で文化財係の職員が東久留米の歴史文化を解説、ウォーキングインストラクターの資格を有したスポーツ推進員が歩き方を指導し、多くの学びとともに健康増進を図る企画として32人にご参加いただきました。なお、こちらの事業については地元のケーブルテレビのJ-COMにより取材が入り、10月28日から11月3日まで地元トピックスにて当日の様子が紹介されています。

「⑬たまろくとクリーンウォーキング」は東久留米市を含め近隣5市で組織する北多摩北部都市広域行政圏協議会が主催し、ごみ拾いをしながら小平グリーンロードを歩くイベントとして49人の参加がありました。

次に【パネル展示・リーフレット配布等】についてです。

⑭は図書館にご協力いただいて、「スポーツ健康ウィーク東久留米2023 展示」として、市内各所の図書館で展示を行っていただきました。

「⑮健康寿命を延ばそう！『食を通じた健康づくり』パネル展示」は生涯学習センターによる事業です。こちらは健康課、生活文化課、産業政策課、保険年金課が行っている事業について取りまとめ、生涯学習センターで展示してもらっています。

「⑯『保育園おすすめレシピ』リーフレットの配布」は、子育て支援課で行っていただきました。

「⑰スポーツ及び健康関連食育事業」は学務課と市内小中学校で行っていただきました。スポーツや健康にちなんで疲労回復に効果のあるメニューなどをご提供いただき、また、偶然訪れた第五小学校では放送委員などにもご協力いただいて、小学生による健康メニューの解説なども行っていただきました。

また、「⑱QUPiO+ポイントアップキャンペーン」は昨年引き続き健康課、保険年金課により行われた事業です。

次年度以降も、このような取り組みによりスポーツ健康による機運醸成をしていきたいと思えます。

- 片柳教育長 説明が終わりました。ご質問等ありませんか。
- 宮下教育委員 「⑪ファミリースポーツフェスティバル」のところで一番右側にウォークライミングの写真が出ていますが、これは常設ですか。
- 島崎生涯学習課長 2000年の開館当時から常設で設置しています。ただし、講習を受けた方のみが登れることになっていまして、当日は山岳連盟の方を中心に初心者から受け付けました。
- 宮下教育委員 かつて、東久留米市は国体でこれの会場になっていましたので、それがまだ名残として強調されているのかなとうれしく思っていました。  
それこそさっきの体力調査結果ではありませんが、子どもたちの巧緻性の伸びにすごく影響を与える種目だと思いますので、大いに周知していただければと思っています。
- 宮下教育委員 講習を受けた子どもしか参加できないのですか。
- 島崎生涯学習課長 様々な種目を行い全体としての意見は伺っていますが、子どもの意見については全て吸い上げる仕組みにはしていません。なお、当日は講習を受けなくても参加で

きるようにはしていました。

○宮下教育委員 ありがとうございます。

○片柳教育長 ほかはよろしいでしょうか。

続いて「⑤令和5年度東京都市町村教育委員会連合会第3ブロック研修会について」に入ります。これについては私からご報告します。

去る11月15日、西東京市を会場として行われた研修会に、私と事務局職員の2人で参加してきました。当日は「学校教育における文化財の活用」をテーマに、西東京市東伏見にある国の史跡である、下野谷遺跡を取り上げた研修を受けてきました。お手元に当日説明に使われた資料をご用意しましたのでご覧ください。

下野谷遺跡につきましては資料を3枚めくっていただきますと、発掘当時の様子が示されていますが、縄文時代中期の典型的な大規模環状集落ということでした。特に、都市部において良好な遺存状態を保つ南関東最大級の遺跡ということでした。国指定は平成27年3月、13万4,000㎡が指定されているということでした。

ただ今ご覧いただいている右ページの下に地図がありますが、この遺跡の西の端に東伏見小学校が立地しています。ざっと見てもこの小学校の9個分ぐらいの広さにわたって遺跡が広がっているということで、その範囲は最大で南北約300m、東西は約700mということでした。その一部が下野谷遺跡公園として整備されているそうです。

さらに、ご覧いただいているページから2枚めくっていただきますとテーマに沿って、「下野谷遺跡の活用例」ということで様々な活用されていることが紹介されています。

東伏見小学校では全学年で教育課程に「下野谷学習」としての取り組みが行われているおり、他の小学校でも総合的な学習の時間の教材として取り上げられているということでした。

さらに3枚おめくりいただきますと、様々な小学校の活用例が出ています。最後には「中学生による縄文のまちづくり提案」といった取り組みも行われており、子どもたちの意見を反映したまちづくりと言いますか、子どもの意見を取り上げる取り組みも先進的に行われているという紹介がありました。

1枚めくっていただきますと、図書館では「西東京市デジタルアーカイブ」をつくっていて、そこに出土品を格納しているそうです。「VR 下野谷縄文ミュージアム」を開設しており、土器などが3Dで360度画面の中で見ることができるそうです。なお、多くの出土品は西東京市の郷土資料館で展示されているということでした。郷土資料室の様子は次のページに示されています。

ここからは感想になります。本市も都内有数の遺跡埋蔵地として知られていまして、現在発掘が進む川岸遺跡をはじめ、市民の共通の文化財、子どもたちの教材、地域の観光資源としての活用が望まれているところです。このほかにも顧想園、これは旧村野家住宅ですが、このような教育的価値のある文化財を数多く持っていますので、こうした教材、文化財の利活用を図っていく工夫をしていきたいと考えています。なお、川岸遺跡から出土した遺物等については、現在、旧下里小学校を活用しての収蔵を考えていまして、今後、整理・保管がされていくものと思います。

この第3ブロックの研修会ですが、前回本市が研修開催市となったのは平成29年度でした。その時は自由学園を視察先とさせていただいて、学園内を生徒さんが案内してくれたり、生徒さんが参加した各市の教育長や教育委員の質問に答えてくれる時間を設けてくれたり、学園長の講話があったりといった盛りだくさんの内容だったと聞いています。

6年度は本市が研修開催になっています。研修の日時や内容等について幹事市に報告する

必要がありますので、改めて委員の皆様にはご相談させていただきます。

事務局から他の報告はありますか。

教育委員の皆様からは何かありますか。宮下委員、お願いします。

○宮下教育委員 報告とそれに関連してお願いがあります。

1か月ぐらい前に、4年ぶりに開催された連合音楽会についてです。子どもたちが他校の子どもたちの演奏、合奏、合唱を聞く機会がありました。それぞれの学校がいろいろなジャンルのものを選び、様々な工夫をしながら取り組んでいました。子どもたちも久しぶりにあいう大きなホールで歌うことができたので、キラキラと輝いていたと思います。個性ある学校の先生方によって個性ある音楽活動が発揮されたていたと思い、とてもうれしく思ったところです。

私と教育長の二人は、午後の第3部から参加しました。午前中に第1部と第2部が開催されて午後が第3部でしたので、3部×4校で12校全てが出演しました。

今回参加してみようかなと思ったのは、指導室がつくってくれたこのパンフレット読んだからです。パンフレットには教育委員会の挨拶がありました。ものすごく素晴らしい挨拶文でした。「コロナ禍の中でいろいろできなかったけれど、こういう音楽会をやることで新しいことを学んできましたね」とあり、音楽の価値に対する文章が続き、さらに「今日はみんなでお互いに感じ取るいいチャンスです」と、素晴らしいことがここに書いてあります。これを見ただけで私はうれしくなって「ぜひ聴きに行こう」と、そんな気持ちになりました。

指導室長と統括指導主事が書かれた文章だと思いますが、素晴らしい内容ですのでこれを継続してほしいと思います。

実は、それを継続してほしいことがあります。

教育活動の最後にあるのが卒業式です。小学校の全課程を、中学校の全課程を修了したことを証するのが卒業式です。かつては卒業式の時に「告辞」として教育委員会が話をしていましたが、数年前ここ数年は市長や副市長にも参列していただいていますので、「お祝いの言葉」としてあります。名称が変わったとしてもあそこで述べられる「式辞」です。「式辞」であれば、その内容はこのような素晴らしい挨拶であってほしいと強く願っています。

そういう意味からしますと、昨年度の卒業式の際のお祝いの言葉の文章にはいろいろ指摘するところがありました。事務局も調整が大変だったでしょうが、私たち教育委員も調整大変でした。今年度の卒業式ですが、これだけ素晴らしい文章を書けるスタッフがいるのですから、卒業式に向けての式辞は質の高い内容を書いていただき、それを事前に教育委員にも示していただきたいと思います。

昨年度は卒業式の二日ぐらい前に折り畳まれた式辞を届けてもらいましたが、その時に初めて教育委員が目にするというのではあまりに心がこもっていないと思いますので、ゆとりをもって私たち教育委員にも示していただきたいと強く思っています。

○片柳教育長 指導室での対応よろしくをお願いします。

○宮下教育委員 プレッシャーをかけましたが、これから長期のお休みになりますのでゆっくり考えてください。

○小瀬指導室長 宿題をいただきました。

---

#### ◎閉会の宣告

○片柳教育長 以上をもちまして、令和5年第12回教育委員会定例会を閉会します。

(閉会 午前10時18分)

東久留米市教育委員会会議規則第28条の規定により、ここに署名する。

令和6年1月25日

教育長 片柳博文（自書）

署名委員 宮下英雄（自書）